

ひびく

報 令和2年
令 8月号

「あつこ」 終戦の日「寄せ」 理事長 今井俊子

立秋も過ぎましたが暑さはこれからが本番です。

「ロソ禍で普段の日常がいかに大切かを学んだ私達は75年前の太平洋戦争で筆舌に尽くし難い日常を送った人々に想いを重ねてまいります。

本年は太平洋戦争の終結から75年の節目になりますので、少し重く話になりますが「ロソ」についてお話ししましょう。

明治になり、世界の国と付き合うことになった日本は防衛のための軍隊を作らねばならず、軍備にかけると予算も莫大で、国民は重い税金を払わねばなりませんでした。やがて明治27年日清戦争、明治37年の日露戦争に勝利すると、国民の間には熱狂的な不敗神話が生まれました。大正、昭和に入ると軍隊が力を持ち始め、政治に圧力をかけるようになり、国際協調にもびびがり始め、遂に国際連盟を脱退して、日本は世界から孤立して行き、アメリカ、イギリスと戦争へ突入しました。

ラジオからはアナウンサーの緊迫した臨時ニュースが一日中流れて来たのを記憶にある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

「臨時」ニュースを申し上げます。臨時「ニュース」を申し上げます。帝国陸海軍は本日未明(1941.12.8)西太平洋上においてアメリカ、イギリス軍と戦闘状態に入り、これが真珠湾攻撃です。それから1945年8月15日に終戦を迎える4年間すべての国民は

戦争と共にありましたが、その中からいくつかの挿話を紹介します。

「ロソ」はよく知られている、知覧から飛び立って行った特攻兵士の「ホタルの話」です。「おはさん！

僕は必ず帰ってくるよ。ホタルになって帰って来るからホタルを見たら僕だと思ってね！」と富屋食堂の鳥浜トメさんに語ったのが、宮川二郎軍曹です。19

45年6月5日、誕生日を迎えた宮川軍曹は翌6日、250kgの爆弾と片道の燃料しかない特攻機で沖縄に向かいました。「この時もう一機飛び立った人が

滝本恵之助伍長です。」ところが途中で天候が悪化し、滝本伍長は引き返しましたが、宮川軍曹はそのまま沖縄に向かいました。その夜富屋食堂の天井に一

匹のホタルが飛んで来ました。それを見た鳥浜トメさんが「あつこー皆さん、宮川さんがホタルになって帰ってきましたよー」と叫ぶと、期せずして、皆は「同

期の桜」を唄い出し、宮川軍曹を偲んだのです。「こまではよく知られた話ですが、もう一人の滝本伍長は終戦まで生き残り、戦後は宮川軍曹の故郷新潟

県の墓に毎日お参りしていました。ある日自ら命を絶ちました。戦時中は「特攻さん、特攻さん」と崇

められた特攻兵士も戦後は手の平を返したように「特攻くずれ」と蔑まれ、多くの兵士は戦友を死なせ

自分だけ生き残ったという自責の念から自殺した人が多かったのです。



次は歌人岡野弘彦の回想です。

岡野は1943年(昭和18年)に国学院大学に入学しました。秋には学徒出陣が決まり、パイロットとして志願しましたが、親から「勘当するぞ」と言われて諦めます。友人の板倉震へとおる君は念願の特攻兵士になり、知覧から飛び立ち、今は知覧特攻平和会館に遺影と遺書が展示されています。出水にも特

攻基地があり、岡野は戦後何度か訪れており、ちょうど鶴が舞っている季節に訪れた時、鶴と特攻兵の姿が重なり次のような歌を詠みました。

「特攻機つらねゆきたるわが友の
まぼろし見ゆる天の鶴群(たづむら)」

そしてもう一つは昭和天皇です。
1937年(昭和12年)の盧溝橋事件から1945年(昭和20年)太平洋戦争終結までに犠牲となつた日本人は310万人と言われます。戦死した人も多かつたのですが、餓死した人も多く、広島、長崎に

原爆が落ちて戦争は終わりましたが、今尚多くの日本人が戦争のきずを抱えております。
天皇の名の下に始まった戦争ですが、天皇は一貫して国民の安寧を願った人であり、戦後は全国を行幸

されて、国民を慰められました。孤独なお顔に時折笑顔を浮かべられるお姿が印象に残っています。
昭和天皇は和歌を数多く詠んでおられますが、

辞世の句というべき歌が、
「身はいかになるともいへざとどめけり

ただたふれゆく民をおもひて」ではないのでしょうか。戦争を直接体験した人が少なくなる中、戦争を歴史ととらえるのではなく、現実にあつた出来事として、忘れてはいけな

いと思えます。

た、忘れてはいけな

NPO法人かごしま新発見伝塾

所在地 〒890-0023 鹿児島市永吉3丁目19-17-208

TEL/FAX 099-800-1521

E-mail info@kagoshima-shinhakken.net

URL www.kagoshima-shinhakken.net

理事長 今井 俊子

副理事長 今井 征男

理事 原口 泉 他

かごしまの観る・学ぶ・楽しむをサポート！

- 事業 ① 観光資源の発掘に関する事業
- ② 街歩きに関する事業
- ③ 観光に携わる人材育成に関する事業
- ④ 観光アドバイザーに関する事業



バスツアーでガイド中の理事長

R2年8月以降の活動計画

カテゴリー	月	日	曜	カテゴリー	テーマ
歴史よもやま話	10:00~11:40 会場 市福祉プラザ4F小会議室 資料代200円 要予約 27席限定				
	7	8	27	木	⑦歴史よもやま話 種子島の女城主「松寿院」 特別講師 島津登志子氏
	8	9	24	木	⑧歴史よもやま話 世界文化遺産登録5周年「アヘン戦争をめぐる幕府と斉彬の対応」
	9	10	29	木	⑨歴史よもやま話 日本の近代化へ挑む～斉彬の集成館事業～
	10	11	19	木	⑩歴史よもやま話 生麦事件
	11	12	10	木	⑪歴史よもやま話 薩摩を背負って立つ…近衛忠房御簾中「貞姫」
	12	1	28	木	⑫歴史よもやま話 薩英戦争
	13	2	25	木	⑬歴史よもやま話 サツマスチューデント・いざロンドンへ
	14	3	25	木	⑭歴史よもやま話 五代友厚～大坂商法会議所会頭～
街歩き	10:00~12:30 会費1,000円(資料代、保険代含む) 2日前までに予約 各15名限定				
	5	9	17	木	56回街歩き 西郷さんを偲んで城山洞窟・終焉地・私学校・銅像
	6	9	20	日	56回街歩き 西郷さんを偲んで城山洞窟・終焉地・私学校・銅像
	7	10	22	木	57回街歩き 庶民パワーの街、仲町・金生町・いづろ
	8	10	24	土	57回街歩き 庶民パワーの街、仲町・金生町・いづろ
	9	11	26	木	58回街歩き 桜島アイランドビューで溶岩散歩
	10	11	28	土	58回街歩き 桜島アイランドビューで溶岩散歩
バスツアー	1	9	19	土	⑥バスツアー 乱世の武人島津義弘と新納忠元を旅する えびの・栗野・大口編
	会費 5,800 円 27名限定 飯野城、加久藤城、木崎原古戦場、栗野城、新納神社、関白陣				
	2	10	17	土	③バスツアー 大木公彦先生と行く大地は語る旅～驚異の阿多カルデラ～
	会費 5,500 円 池田断層カオリン山、新永吉の棚田、花瀬海岸、伏目海岸断層、山川石採石場跡				
	3				
	会費 円				
種子島ツアー	1	11	4 ~ 11	6	3日間 種子島の奥深い歴史と宇宙の入り口を訪ねて
	会費 59,000円 24名限定				宿泊 種子島いわさきホテル
	鉄砲館、赤尾木城跡、月窓亭、御拝塔墓地、へゴ自生群落、広田遺跡、千座の岩屋、赤米館、花峰小、門倉岬、宇宙センター				

歴史ガイド + ジオガイド、そして「エコツアーガイド」勉強中！

出水荒崎湿地帯の「ラムサール条約」認定登録に向けた「エコツアーガイドの為の研修」に参加して、ツルや野鳥とその地域に暮らす人々について学んでおります。

出水の荒崎の「ラムサール条約」に認定登録は来年度の予定で、県内では2番目となります。

勉強中の人 理事長 今井俊子